

OKINAWA GENERAL CONSTRUCTORS ASSOCIATION

沖建協会報



令和8年

No.673

6
月号

今月号の主な内容

- ◆ 通常総会で仲本氏が会長就任
- ◆ 全建協・共済団・沖建協表彰
- ◆ 宮崎防衛副大臣が要請に応える
- ◆ 津波達也氏黄綬褒章受章



目 次

<NEWS>

第1回役員会	1
第77回通常総会を開催	2
令和8年度 全建協、建設業福祉共済団、沖建協表彰	4
仲本新体制で建設懇親会を開催	6
各部会・支部が総会	8
宮崎政久防衛副大臣が要請を受けて特例措置	11
津波達也前会長が黄綬褒章受章	12
県などが9団体に新規学卒者の採用増要請	13
工業高校教諭と意見交換	13
新入社員の実践型人材育成訓練を開講	13
支部活動報告	14
浦添・西原支部 ソフトボール大会を開催	
北部支部 北部道路整備促進で総決起大会	
北部支部 建設現場パトロールを実施	

<建設雇用改善推進コーナー>

Message～後輩たちへ	15
---------------	----

<事務局から>

協会の動き	16
今後の日程	16

<会員の異動>

<お知らせ>

西日本建設業保証からお知らせ	18
----------------	----

〈表紙写真〉

【青年部会第17回フォトコンテスト ～島の魅力～優秀作品より】

〔造の部 学生賞〕

題 名：夏の夕方時のとよみ大橋

撮 影 者：山岸 苺

撮影場所：とよみ大橋（豊見城市）

令和8年度事業計画案などを審議

第1回役員会を開催



通常総会の議案などを審議した

令和8年度第1回役員会が5月1日、浦添市の建労センターで開かれた。津波達也会長は議事に先立ち、今回が任期最後の役員会となることに触れ、これまでの協力に感謝を述べた。議事では会員資格の承継と退会届けのほか、5月15日開催の第77回通常総会に提出する令和7年度事業報告と決算報告、令和8年度事業計画案並びに予算書案、役員改選案を審議し、すべて承認された。

今年度事業計画案では、協会活動として17項目を掲げ、企業経営や現場運営、労働環境改善等の問題解決に取り組むとともに、若者が明るい将来展望が描けるよう「魅力ある産業づくり」に向けた事業を展開する。

このうち「公共事業予算の拡大確保と社会資本整備の充実、受注拡大に向けた取り組み」では、企業が中長期的な経営計画を立てられる好循環型の産業構築が必要だとして、関係機関への要請活動などを進める。また「建設業の生産性向上並びに経営改善等への対応」では、ICT施工の標準化とBIM/CIM等に関する研修会の実施、デジタル技術(DXや生成AI)の活用に向けた取り組みを進める。「働き改革に伴う労働・現場環境の改善、労働災害防止対策の推進」では、時間外労働



任期最後の役員会で挨拶する津波会長

上限規制への対応や現場書類の簡素化、週休2日制工事の推進などで労働環境の改善を図るほか、新たに災害時にも利用可能な快適トイレ導入の推進を盛り込んだ。

その他事項では、沖縄県アスファルト合材協会会長の伊志嶺匡理事がアスファルト価格高騰への理解と協力を求めたほか、各委員会からの報告が行われた。会員資格継承と退会届けは次のとおり。

1. 会員資格承継

【那覇支部】(株)共洋土建(代表取締役・野浦広行)

2. 退会届

【北部支部】(有)友屋工業(代表者・河島俊也)

新会長に仲本豊氏を選任 新体制へ

第77回通常総会を開催



新体制を決める役員改選を審議した



挨拶する津波会長

5月15日、那覇市の沖縄ハーバービューホテルで令和8年度通常総会を開き、任期満了に伴う役員改選で仲本豊氏(株)仲本工業)を新会長に選任した。副会長には内間耕氏(株)國場組)と仲程俊郎氏(仲程土建(株))を新たに選任し、名嘉太助氏と上原進氏を再任した。また、我喜屋良成常務理事が専務理事に昇任。役員人事は、総会後に行われた臨時役員会で正式に決定した。

退任した津波達也前会長は顧問に就任し、新里英正前副会長、呉屋明前副会長、源河忠雄前専務理事は相談役に就いた。新体制のもと、協会は引き続き地域建設業の発展と課題解決に向けた取



就任挨拶をする仲本氏

り組みを進めていく。

仲本新会長は就任挨拶で、「建設業は沖縄経済を支える重要な産業であり、地域経済の発展を支える使命を担っている」と述べ、建設業が果たす役割を改めて強調。そのうえで「会員の声を一つ一つ吸い上げ、改善できることは改善し、発注者や関係機関に必要な要請を行い、建設業のさらなる発展に全力で取り組む」と抱負を述べた。また、「個々の企業が発展し、北部から八重山まで全ての地域で建設業が発展していくことが重要」と述べ、新執行部で連携しながら会員の期待に応えられる協会運営に取り組む考えを示した。



新旧正副会長と支部長ら

建設業界の課題として担い手確保を挙げ、「2030年問題と言われるように、技術者や技能者の大量離職が懸念されている。短期的にも中長期的にも担い手確保と育成が最重要課題だ」と指摘した。

また、「建設業を他産業と比べても魅力ある業界にしていかなければならない。仕事内容だけでなく、待遇や収入面でも魅力を高めることで、若い世代に選ばれる産業にしていきたい」と述べた。

その上で、DXやAI活用による業務効率化、ICT施工やロボット技術導入などにも積極的に取り組む考えを示し、「生産性向上によって働き方改革を進め、業界全体の魅力向上につなげたい」と語った。

また、物価高騰や資材価格上昇への対応については、「工期遅延やコスト増加が大きな課題となっている。公共工事だけでなく民間工事も含め、業界の現状をしっかりと発信させる必要がある」との認識を示した。

内間新副会長は、防衛省が沖縄防衛局発注工事の特例措置を示したことについてふれ、「態勢を整えて貢献したい」と話した。仲程新副会長は、「北部支部長を3期6年務める中で培った経験を今後は本部運営につなげていく」と語った。

総会では、3期6年にわたり会長を務めた津波前会長に感謝状が贈られた。仲本新会長は「業界



開会の挨拶をする新里氏



閉会の挨拶をする名嘉副会長

が直面する諸課題の解決に多大なる尽力をいただいた」と謝意を述べ、今後も顧問として業界発展への協力を求めた。これに対し津波前会長は、「若い人たちが希望を持って働ける業界にしていかなければならない。所得向上を実現し、他産業からも選ばれる産業にしていきたい」と述べ、新体制に期待を寄せた。

令和
8年度

全国建設業協会表彰 建設業福祉共済団表彰及び沖建協表彰

沖建協第77回通常総会に先立ち、令和8年度沖建協表彰式を開催して全建表彰22人、7社、福祉共済団表彰3人、沖建協表彰58人、5社を表彰した(敬称略)。

一般社団法人 全国建設業協会表彰



■表彰規程第2条3号(団体役員表彰)

新里 英正(株鏡原組)
呉屋 明(株呉屋組)
仲本 豊(株仲本工業)
手登根 明(株富士建設)



■表彰規程第2条4号 (会社役員表彰)

上原 進
(株豊神建設 代表取締役)



■表彰規程第2条7号 (団体職員表彰)

川平 なつこ
(一社)沖縄県建設業協会
総務部庶務課主任)



■表彰規程第4条3号(会社表彰)

(有)沖産 (株)沖秀建設
(株)新栄組 (資)共和測建
(有)大政建設 (有)千代田開発
池村建設工業(株)



■表彰規程第5条(優良従業員表彰)

世嘉良 聡(株)沖創建設
伊佐 順治(株)沖電工
山里 直明(共和産業(株))
城間 盛三(株)金城キク建設
平良 数文(株)古波蔵組
長嶺 幸正(株)小波津組
神里 敏朗(先嶋建設(株))
伊礼 幸司(株)大米建設
知念 雅人(比嘉工業(株))
國吉 清光(株)大城組
山内 悟(株)沖永開発
大城 盛雄(株)大成ホーム
金城 博文(株)仲本工業
上間 義之(株)屋部土建
根間 敏行(株)丸玄建設
波名城 弘幸(丸良建設(株))



公益財団法人 建設業福祉共済団表彰



■個人の部

安慶名 健
(一般社団法人沖縄県建設業協会 本部理事)

川満 明
(一般社団法人沖縄県建設業協会 本部理事)

大城 壮司
(一般社団法人沖縄県建設業協会 本部監事)

一般社団法人 沖縄県建設業協会表彰



■表彰規程第2条3号(協会役員表彰)

大村 光昭(安岡建設(株) 代表取締役社長)

徳元 猛(光建設(株) 代表取締役社長)

名嘉 太助(株太名嘉組 代表取締役社長)

大嶺 健一郎(株沖縄工設 代表取締役社長)

丸尾 剛(丸尾建設(株) 代表取締役社長)

源河 忠雄((-社)沖縄県建設業協会 専務理事)



■表彰規程第2条4号 (会社役員表彰)

上地 千登勢(金秀建設(株)、相談役)、名嘉 弘之(株太名嘉組、取締役副社長)、松田 徳和(株屋部土建、専務執行役員)、池間 安彦(有国盛建設、代表取締役)



■表彰規程第2条7号 (協会職員表彰)

山田 美幸((-社)沖縄県建設業協会、総務部長)、松田 優花((-社)沖縄県建設業協会、総務部庶務課書記)



■表彰規程第3条3号 (会社表彰)

(株)丸憲、琉幸建設(株)

(有)国盛建設、(株)八重島工業

琉穂建設(株)

■表彰規程第4条(優良従業員表彰)

久場 浩昭(株沖電工)、花城 貴弘(株沖電工)、大城 杉子(金秀建設(株))、山内 正森(金秀建設(株))、久保田 百合子(株鏡原組)、砂川 健二(共和産業(株))、長田 秀樹(共和産業(株))、玉城 司(株金城キク建設)、上原 正人(株小波津組)、伊是名 毅(株第一三興建設)、比嘉 剛(株大寛組)、謝花 喜彦(大鏡建設(株))、新垣 政也(大鏡建設(株))、下地 克夫(株大米建設)、比嘉 利巳(株大米建設)、伊良波 浩(株高橋土建)、棚原 憲宏(南洋土建(株))、金城 隆(比嘉工業(株))、呉屋 勝雄(株東江建設)、仲宗根 良次(株内間土建)、新垣 健(株大城組)、金城 珠美(株大城組)、前川 守二三(株太名嘉組)、町田 宗健(沖電開発(株))、神山 達也(株沖縄工設)、久保田 仁(株沖縄工設)、新垣 康(オパス(株))、武富 和則(協栄海事土木(株))、玉川 文彦(光基(株))、宮里 由美子(國和建設(株))、伊佐 和美(三善建設(株))、比屋定 稔(三善建設(株))、上原 信幸(株りゅうせき建設)、松田 研一(株りゅうせき建設)、宮里 陽子(光南建設(株))、花城 秀明(拓南製作所(株))、津波古 清美(株仲本工業)、渡口 良樹(株仲本工業)、伊佐 浩(株福地組)、新城 仁美(株福地組)、川平 良隆(琉球開発(株))、島袋 統(株屋部土建)、中村 朝嗣(株屋部土建)、島尻 十七美(有南雄建設)、浦崎 日出夫(砂盛建設(株))、金城 晴男(株八重島工業)



仲本新体制で建設懇親会を開催

業界発展への連携強化誓う



業界発展を祈念し乾杯した

5月15日、通常総会に引き続き「令和8年度建設懇親会」が開催され、多くの関係者が出席した。会員をはじめ、国や県、市町村、関係団体の関係者が新体制の船出を祝うとともに、業界発展に向けて親睦を深めた。

仲本豊会長はあいさつで「建設業界の明るい未来の構築に向け、誠心誠意、全力で取り組む」と決意を表明。公共事業予算の確保や適正利潤の確保、担い手育成など山積する課題に触れ、「会員一人一人の声に耳を傾け、課題解決に努めたい」と述べ、関係機関との連携強化に意欲を示した。

来賓祝辞では、玉城デニー知事の祝辞を砂川勇二県土木建築部長が代読。「建設業界は県民生活や地域経済を支える重要な産業である」と役割の大きさを改めて示した。担い手3法の改正を踏まえ、「週休2日制の促進やICT活用による生産性向上など、持続可能な建設産業の実現に向け取り組みを進めたい」と述べた。

また、内閣府沖縄総合事務局の宮津智文開発建設部長は、令和8年度沖縄振興予算のうち公共事業関係費として1,254億円が計上されたことに言及し、道路や港湾、空港、首里城復元など各種事業を推進する考えを示した。「建設業界の知識や



挨拶する仲本会長



来賓祝辞を述べる砂川土木部長



業界への期待を述べる宮津開建部長



乾杯の発声を務めた中川議長

経験は社会資本整備に欠かせない。今後も公共事業推進の原動力として力添えをお願いしたい」と期待を寄せた。

乾杯の音頭は中川京貴県会議長が務めた。観光需要の拡大などを背景にインフラ整備の重要性が高まっているとし、「県議会としても公共事業予算の確保や建設産業の発展に取り組む」と述べ、出席者の健勝と業界発展を祈念した。

中締めは名嘉太助副会長が務め、仲本新体制を支える副会長陣を紹介した。

PHOTO TOPICS



西銘恒三郎議員と砂川県土建部長、佐喜眞淳宜野湾市長、照屋勉与那原町長、金城宏孝南風原町長ら



国関係者ら



県関係者ら



松本哲治浦添市長と宮本淳子沖縄労働局長ら



徳元次人豊見城市長ら



名嘉副会長が副会長メンバーを紹介した



友利勝人宮古支部長ら



平良聡八重山支部長ら

各部会・支部が総会

◆ 青年部会 業界イメージ向上図る

青年部会は4月20日、那覇市の沖縄船員会館で第35回通常総会を開き、任期満了に伴う役員改選で、大城壮司氏(大晋建設(株)社長)を新部会長に選出した。副部会長には仲本瑛氏(仲本建設(株)社長)、佐平龍太氏(株)佐平建設社長)、久保田旭氏(株)大城組営業課長)の3氏が選任された。

就任あいさつで大城新部会長は「地域に根差した社会貢献を通じて社会資本整備の必要性を広く伝えていきたい」と抱負を述べた。

総会では、令和7年度の事業報告と決算、令和8年度の事業計画案と予算案を審議し、いずれも承認。事業計画では、発注機関や関係団体との意見



新任の大城部会長(左から2人目)と副部会長ら交換をはじめ、業界イメージの向上を図るフォトコンテストや献血キャンペーンなどに取り組むとした。

総会後には、沖縄総合事務局開発建設部の岡本雅之企画調整官による基調講演も行われた。

◆ 女性部会 社会貢献活動等の推進

女性部会は4月17日、第3回通常総会を浦添市の建労センターで開催した。任期満了に伴う役員改選では、糸数幸恵部会長(株)丸元建設)が再任となった。副部会長には新たに後藤公子氏(株)大米建設)を選任し、新本真紀子氏(株)りゅうせき建設)と岸本ひとみ氏(株)屋部土建)は続投する。

議事では、令和7年度事業報告および収支決算、令和8年度事業計画案・収支予算案を承認した。今年度は「社会貢献活動等の推進」を新規事業に掲げ、経済的困窮世帯への支援にも取り組む方針



今年度の事業計画案などを承認したを確認した。リコチャレやAI研修など、女性活躍や人材確保につながる取り組みも継続して進める。

総会後の懇親会では、会員同士が自己紹介カードを交換しながら親睦を深めた。

◆ 那覇支部 会員企業の結束強化へ

那覇支部は4月16日、那覇市の沖縄ハーバービューホテルで第41回通常総会を開いた。任期満了に伴う役員改選では、黒島一洋支部長(先嶋建設(株))をはじめ副支部長の伊志嶺匡氏(株)七和)、平良修一氏(大鏡建設(株))、糸数幸恵(株)丸元建設)が続投となった。

黒島支部長は「人手不足や資材価格の高騰など厳しい状況が続いている。発注行政機関との連携が一層重要になる」と述べ、会員企業の結束強化と業界発展に意欲を示した。

総会では、令和8年度の事業計画案や予算案などを承認した。今年度は本部と連携し、公共工事



各議案を原案通り承認したの適正積算・工期の要請や、技術・技能向上に向けたCPDS講習会の開催などに取り組む。

懇親会では、那覇市の知念覚市長(代読)や川上呂二県南部土木事務所長らがあいさつを述べた。

◆ 南部支部 チャレンジ型導入要請へ

南部支部は4月17日、糸満市のサザンビーチホテル&リゾート沖縄で第65回通常総会を開催。令和7年度の事業報告と決算、令和8年度の事業計画案と予算案を承認した。任期満了に伴う役員改選では、徳元猛支部長(光建設(株))と副支部長の照屋正人氏(株照屋土建)、赤嶺武信氏(株東洋土木工業)、本部憲治氏(株三大土木産業)を再任した。

徳元支部長は「世界情勢の不透明さから工事への影響も懸念されるが、本部を中心に会員企業が良い状況になるよう取り組んでいく」と述べた。

今年度は、地域建設業の健全な発展と受注機会の確保を図るとともに、災害時の「地域の守り



議案を審議する支部会員ら手」としての役割を果たせるように取り組みを進める方針。事業計画には、労働災害防止の強化や会員の技術力向上、清掃ボランティア、施策研修会などを盛り込んだ。また、国や県に対して、大型工事の分離発注や総合評価方式での「チャレンジ型」導入を求める要請も行う。

◆ 浦添・西原支部 勉強会盛り込む

浦添・西原支部は4月16日、浦添市の建労センターで第36回通常総会を開いた。令和8年度事業計画案と予算案など審議し、いずれも全会一致で承認。任期満了に伴う役員改選は、内間司支部長(株内間土建)と副支部長の大嶺健一郎氏(株沖縄工設)、喜名景秀(株大成ホーム)、安慶名健氏(株りゅうせき建設)を再任した。

内間支部長は「結束こそが浦・西支部の力。これからも会員や地域企業、行政などと連携して地域づくりに取り組んでいこう」と挨拶した。

今年度事業計画では、新規にMICE事業の推進、都市モノレール延伸への要望、キャンプ・キン



令和8年度予算案などを承認したザー跡地利用に関する勉強会や要請活動を盛り込んだ。

総会後の懇親会には、松本哲治浦添市長や崎原盛秀西原町長らが出席し、祝辞を述べた。

◆ 中部支部 生産性向上に取り組む

中部支部は4月16日、中部建設会館で第72回通常総会を開き、令和8年度事業計画案などを承認した。

役員改選では、石川裕憲支部長(有国吉組)が続投し、副支部長に福地一仁氏(株福地組)が新たに就任。津波克守氏(光南建設(株))と太田秀吉氏(太田建設(株))、大石根史氏(株丸石建設)は引き続き副支部長を務める。石川支部長は「中部支部から明るく元気に業界を盛り上げたい」と抱負を述べた。

今年度事業計画では、DX推進やBIM/CIM導入、ICT活用による生産性向上をはじめ、働き



石川支部長のもと新年度方針などを確認した方改革や労働環境改善への対応を進める。受注機会拡大に向けた要請活動や災害復旧支援体制の強化、技術向上に向けた講習会開催などにも取り組む。総会後の懇親会では、新年度の事業推進に向けて結束を固めた。

◆ 北部支部 照屋博章氏が新支部長

北部支部は4月17日、名護市のホテルゆがふいんおきなわで第71回通常総会を開き、任期満了に伴う役員改選で照屋博章氏(株)屋部土建)を支部長に選出した。副支部長には小那覇邦郎氏(株)まるくに)が新たに就任し、伊波一人氏(有)マル井建設)と玉城進一氏(株)タマキ)は続投となった。

照屋氏は「人材不足の深刻化や資機材価格の上昇など厳しい環境が続く中、若手確保や働き方改革、生産性向上に取り組む必要がある」と述べ、北部地域の発展に意欲を示した。

このほか令和7年度の事業報告と決算、令和8年度の事業計画案と予算案を審議し、いずれも原案通り承認。今年度事業計画では、本部関連団体



支部長就任のあいさつをする照屋氏と連携した活動に加え、包括的災害協定に基づく復旧支援体制の維持・拡充、企業説明会の実施を掲げた。懇親会では、渡具知武豊名護市長が来賓あいさつを述べ、知花靖北部振興会会長(国頭村長)が乾杯の音頭を務めた。

◆ 宮古支部 新事業受け皿づくり必要

宮古支部は4月17日、宮古建設会館で第66回通常総会を開いた。令和8年度事業計画案と予算案などを審議し承認した。任期満了に伴う役員改選では、友利勝人支部長(株)翔南建設)と副支部長の川平勲氏(株)川平建設)、川満明氏(株)丸玄建設)が再任した。友利支部長は「去年は民間工事が堅調だったが、公共工事が減少し、各社とも厳しい経営環境にあったと思う。一方で、女性技術者の意見交換会を開催するなど、今後の支部活動を模索する年でもあった」と振り返った。そのうえで「今年度は総合体育館建設工事など明るい話題もあり、支部として新事業の芽出しに対応できる受け皿づ



くりに取り組む必要がある」と述べた。

今年度は、受注機会の拡大に向けた要請活動や意見交換会をはじめ、若年者と女性の雇用拡大、労働環境の改善などに取り組むとした。

◆ 八重山支部 従事者の確保・育成へ

八重山支部は4月17日、八重山建設会館で第77回通常総会を開き、任期満了に伴う役員改選で平良聡支部長(株)八重島工業)の続投を決めた。副支部長には新たに玉吉秀庸氏(株)玉吉建設)を選任し、照屋晃氏(照屋建設株)は再任した。

平良支部長は、中東情勢の影響で建築資材や機材の仕入れ時期について、見通しが立たない状況に「適正な単価設定を行う必要があり、行政にも協力を呼びかけていく」と述べた。

議事では、令和7年度の事業報告や令和8年度の事業計画案などを承認した。今年度の事業計画



総会后、支部長を中心に記念撮影する支部会員らでは、若年者や女性建設従事者の確保・育成、建設産業のイメージ向上、ICT施工やBIM/CIMの普及促進、時間外労働の上限規制など働き方改革の推進、CCUS加入促進、防災・減災ネットワークの強化に取り組む方針を掲げた。

防衛局発注工事で県内企業受注拡大へ

宮崎政久防衛副大臣が対応方針示す



説明を受ける県内建設業関係者ら

沖建協などが防衛省に要請していた「沖縄防衛局発注工事における県内企業の受注機会拡大」について、宮崎政久防衛副大臣が4月27日に那覇市内で開かれた説明会で対応方針を示した。沖縄防衛局では、総合評価落札方式の見直しやWTO対象工事への新たな評価制度導入など、県内企業を対象とした特例措置を5月公告分から適用するとした。説明を受けた津波達也会長は「これまでにない対応で、要請活動の成果としてほぼ満額回答に近い」と歓迎した。

今回の特例措置では、総合評価落札方式の地域評価型に新たに南部地域を追加。那覇市や浦添市、糸満市、西原町など10市町に本店を置く企業を加点对象とし、那覇港湾施設移設事業や自衛隊施設整備などで県内企業の参入機会拡大を図る。

また、WTO基準額以上の工事についても、運用基盤以外の隊舎や宿舎、庁舎、倉庫、整備工場、造成、雨水・下水道等を対象に2つの評価制度を新たに導入した。1つ目の「拡大施工能力評価型」は、これまで基準額未満の工事に適用していた施工能力評価型の適用上限を15億円まで拡大し、入札参加要件を県内企業に限定。2つ目の「拡大地域評価



特例措置を説明する宮崎防衛副大臣(右から3人目)

型」は、15億円以上30億円未満の工事を対象に、県内に本店を置く企業への加点点項目を追加し、県内企業の参画を後押しする。

要請は3月30日に行われたもので、資材価格や労務費の高騰に伴うWTO対象工事の増加で県外企業への発注額が膨らむ中、県内企業の受注機会の確保・拡大を求めたもの。沖建協をはじめ、(一社)防衛施設強化推進協会沖縄支部(内間耕支部長)、自由民主党沖縄県支部連合会(島袋大会長)、沖縄県市長会(中山義隆会長)が東京都の防衛省本庁を訪れ、宮崎防衛副大臣に連名で要請書を手渡していた。

津波達也前会長が黄綬褒章受章

長年にわたり建設業の発展に尽力

5月25日、令和8年度春の褒章受章者への伝達式が東京都で行われ、黄綬褒章を受章した前会長で顧問の津波達也氏に章記と褒章が授与された。黄綬褒章は、業務に精励し他の模範となる者に授与される。津波会長は、誠実な人柄と確かなリーダーシップで、多年にわたり建設業の発展に尽力したとして功績が高く評価された。津波氏は「会社、そして地域の皆さんのご協力、お力添えのおかげ。大変ありがたい」と感謝の言葉を述べた。

津波氏は昭和53年に(株)屋部土建へ入社。建設部長、常務取締役、専務取締役、取締役副社長と着実に経験を積み、平成18年に代表取締役社長、令和4年からは代表取締役会長を務めている。

近年の施工実績はめざましく、那覇空港滑走路増設舗装工事、中城湾港(泡瀬地区)地盤改良工事、那覇港(浦添ふ頭地区)防波堤(浦添第一)ケーソン工事など、多くの重要工事を手掛けてきた。

令和2年には、海上保安庁発注の宮古島第三宿舎(仮称)整備事業で、県内建設業として初めてPFI事業の代表企業を務めた。周辺環境との調和や景観への配慮、省資源・環境負荷低減など多様な条件を満たしつつ、限られた期間で完成させた。この事業で民間のノウハウや工夫を活かした多くの提案が高く評価された。

これまで施工の中で特に印象深い建築物として、沖縄県公文書館を挙げた。平成8年に(一社)日本建設業連合会のBCS賞を受賞した同館は、琉球石灰岩や赤瓦など県産素材を巧みに取り入れ、亜熱帯気候に適した空間づくりが高く評価された。津波氏は当時を振り返り「受賞は本当にうれしかった」と笑みを浮かべた。

沖建協会長としては3期6年にわたり業界をけん引。在任中は県などと議論を重ね、最低制限価格の見直しを実現した。直近では、防衛省への要請で沖縄防衛局発注工事が新たな制度を導入し、県内企業の受注拡大に大きく貢献した。



受章伝達を受ける津波前会長と夫人



受章した津波前会長

略歴

昭和29年9月生まれ 名護市出身、71歳。
 昭和48年 沖縄県立北部工業高校卒業
 昭和53年10月 (株)屋部土建入社
 平成7年 専務取締役
 平成16年 取締役副社長
 平成18年 代表取締役社長
 令和4年11月 代表取締役会長
 令和2年6月 (一社)沖縄県建設業協会会長就任
 (令和8年5月15日まで務めた)

県などが新規学卒者の採用増を要請

県と県教育委員会、沖縄総合事務局、沖縄労働局は5月12日、那覇市の那覇第2地方合同庁舎で、(一社)沖縄県経営者協会や沖建協など県内経済9団体に対し、令和9年3月新規学卒者の求人確保に関する要請を行った。

要請では、採用枠の拡大や6月中の求人票提出、選考結果の早期通知などを求めた。各団体代表からは、学卒者の確保に向け、会員企業の取り組みを後押ししていく考えが示された。

生徒代表として出席した具志川商業高校の仲宗根美夢さんと南風原高校の地下海碧さんは「早い段階での求人情報提供と内定通知をお願いし



経営協の宮城会長(右)に要請する生徒ら

たい。企業で活躍できる人材となれるよう努力するので、やる気を発揮できる場を与えてほしい」と訴えた。

工業高校教諭と建設雇用改善事業などを意見交換

4月14日、県内工業高校の教諭との意見交換会を浦添市の建労センターで開いた。沖縄工業、浦添工業、美里工業、美来工科、名護商工、南部工業の6高校から11人の教諭が参加した。我喜屋良成常務は「協会の建設雇用改善事業として、今年度も複数の取り組みを予定している。先生方の意見を踏まえ、実効性のある事業につなげていきたい」とあいさつした。

沖建協側からは、今年度実施する現場見学会や実習・研修、建設産業合同企業説明会などの概要を説明し、人材確保・育成に向けた連携強化について意見を交わした。



人材確保に向けた連携を確認

学校側からは、現場見学会における暑熱対策や実施時期への配慮を求める声があったほか、就職後の通勤負担を軽減するための寮整備を求める意見も寄せられた。

新入社員対象の実践型人材育成訓練を開講

4月14日、「令和8年度実践型人材育成訓練」が那覇市の那覇地域職業訓練センターで開講した。会員企業の新入社員が対象で、今年度は土木学科コースに15人、建築学科コースに20人の計35人が受講。建設業務に必要な基礎知識と実務能力の習得を目指す。

開講式で久高唯和事務局長は「訓練後は現場で学びを生かし、将来は資格を取得して会社に貢献してほしい」とあいさつした。

訓練では土木、建築、安全衛生の各分野を学ぶ。修了条件を満たした受講生には修了証明書が



会員企業の新入社員35人が受講した

交付される。受講する㈱大興建設の神谷陽仁さんは「基礎知識と社会ルールを学びたい」と語った。

訓練は6月9日まで行われる。

支部活動報告

■浦添・西原支部のソフトボール大会は屋部土建が初優勝

浦添・西原支部(内間司支部長)の第31回ソフトボール大会が4月25日、豊見城市の瀬長島野球場で開かれ、(株)屋部土建が初優勝を飾った。雨模様の中、会員企業や浦添市職員など19チームが熱戦を繰り広げた。今大会から新調された優勝旗は栄冠を手にした屋部土建に授与された。

準優勝は沖電開発(株)、3位は(株)大城組だった。個人賞は次の通り(敬称略)。

【最優秀選手賞】吉元優志＝(株)屋部土建【優秀選手賞】坂井勇志＝沖電開発(株)【特別賞】宮里優美



初優勝した屋部土建チームの皆さん
＝(株)沖永開発、松本英大＝(株)大城組、山城笑子＝
沖電開発(株)、比嘉小乃実＝(株)屋部土建

■北部支部

●道路整備促進で総決起大会

北部地域の道路網整備促進と離島架橋の早期実現に向けた総決起大会が4月16日、名護市民会館で開かれた。北部振興会(会長・知花靖国頭村長)、名護東道路整備促進期成会(同)、北部市町村会(会長・當眞淳宜野座村長)の3団体が主催し、国に求める予算確保項目や重点要請項目などを決議。交通インフラの早期整備実現に向け、参加者は氣勢を上げた。

大会には沖建協北部支部の関係者のほか、北部地域の首長や経済団体関係者、地域住民ら338人が参加した。

重点要請項目には、名護東道路の早期整備や



地元関係者ら338人が氣勢を上げた
伊平屋～伊是名間の離島架橋実現の2項目を盛り込んだ。このほか、新たな道路整備計画の策定や国道整備、沖縄自動車道インターチェンジ整備促進、無電柱化推進、地元建設業者の受注機会確保など、幅広い予算確保と体制整備を国に求める。

●現場現場の安全パトロール実施

北部支部(仲程俊郎支部長)は4月24日、北部各地の建設現場安全パトロールを実施した。蟻生威志事務局長と会員企業の安全指導者ら5人が参加し、2班に分かれて公共施設やホテル、マンションなどの現場を巡回した。

安全指導者らは、墜落防止や感電防止、倒壊防止、機械・資材の落下防止などの点検項目に沿って安全対策を確認。担当者から聞き取りをしながら指導を行った。建築現場では、作業主任者の明示や安全掲示板、開口部の転落対策、作業足場の設置、昇降設備の不備、保護帽の着用状況などを



安全対策を確認した指摘。土木現場では作業通路の確保や開口部養生などについて改善を求めた。

このほか、熱中症リスクへの注意喚起も行い、こまめな水分補給と休憩確保などの対策を促した。

きつい達成感とやりがいに 挑戦してみるが大切

現場の仕事は正直きついと感じることもありますが、その分、やり遂げたときの達成感ややりがいがあります。きついことばかり

担当した現場



初めての担当現場「那覇市松尾2丁目の
プランシエラ那覇開南プレミスト」

ではなく、月に1回のレクリエーションがあったり、年齢の近い先輩方と楽しく話せる時間もあり、私自身この会社に入って良かったと感じる場面がたくさんあります。

資格取得や入社するときにも言えることですが、まずは「挑戦してみる」という気持ちが大切だと思います。どんな道でも、自分で選んだ道ならきつと力になります。気合いを入れて頑張ってください。



沖縄工業高等学校出身
宮城 美希さん(19歳)

(金秀建設株式会社 建築工事部)

みやぎ みき／那覇市出身／2025年3月沖縄工業高等学校(建築科)卒業／2025年4月金秀建設株式会社入社

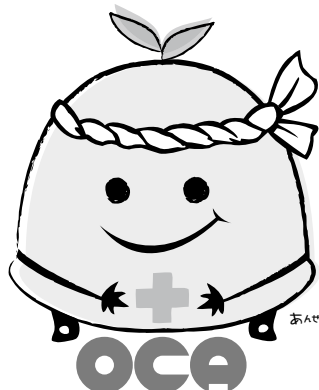
入職のきっかけ: 高校2年生のインターンシップで訪れた際、職場の雰囲気や社員の会話がとても良く、強く惹かれました。その後も現場見学でお世話になり、入職を決めました。

将来の夢・目標: 信頼される仕事を積み重ね、人望のある人になることが私の夢です。

休日の過ごし方: 休日は家族や友人と出掛けてリフレッシュしています。趣味は映画鑑賞と猫カフェ巡りです。

沖建協「見える化」イメージアップキャラクター 「あんぜんぼーや」を現場へつれてって!!

地域と共に、未来を築く



Okinawa General
Constructors
Association

あんぜんぼーや

私たちは、沖縄県建設業協会会員です。



一般社団法人

沖縄県建設業協会

Okinawa General Constructors Association



建設業界のイメージアップと沖縄県建設業協会会員の「見える化」を図るため、協会のイメージアップキャラクター「あんぜんぼーや」のシールを作成しました。(A4 サイズ、A3 サイズ)

協会会員が施工する建設現場の出入り口など人目に触れる機会の多い場所に貼って、協会会員であることを示すPR活動に使用してください。

追加で必要な場合は、所属支部窓口で配布します。

2026年5月の動き

日	曜	沖建協・建産連・土木技士会・青年部会等	その他会議・講習会等
1	金	・沖建協「役員会」(建労センター)	
7	木		・沖縄県経済団体会議「本会議」(那覇市) ・沖縄県道路利用者会議「定時総会」(那覇市) ・沖縄県産業教育振興会「常任理事会」(那覇市)
11	月		・沖縄しまて協会「しまてい編集委員会」(浦添市)
12	火		・沖縄県職業能力開発協会「理事会」(那覇市) ・沖縄労働局「学卒求人の確保に係る要請および新卒者等人材確保推進本部会議」(那覇市)
15	金	・沖建協「表彰式、通常総会」(ハーバービューホテル)	・沖縄県廃棄物不法処理防止連絡協議会(那覇市)
18	月	・建設会館「取締役会」(建労センター)	
20	水		・沖縄工業高等専門学校産学連携協力会「理事会・総会」(那覇市)
21	木	・沖建協女性部会「企画推進委員会」(建労センター) ・沖建協女性部会「沖縄県母子寡婦福祉連合会・那覇市母子寡婦福祉会との意見交換会」(建労センター)	・沖縄総合事務局「発注工事説明会」(建労センター) ・沖縄県建設技術センター「定時理事会」(那覇市) ・北那覇法人会「記念講演会・定期総会・情報交換会」(那覇市)
22	金		・沖縄県就労支援事業者機構「通常総会」(那覇市) ・沖縄労働局「沖縄県建設業Safe-Work運動総括会議」(那覇市) ・建災防沖縄県支部「役員会」(浦添市)
25	月	・沖建協「1級土木(一次)施工管理技術検定試験受験対策講習会」1/3回目(建労センター)	
26	火	・沖建協「1級土木(一次)施工管理技術検定試験受験対策講習会」2/3回目(建労センター)	・沖縄県「沖縄県建設工事従事者安全健康確保推進会議」(那覇市) ・沖縄県職業能力開発協会「総会」(那覇市)
27	水	・沖建協「1級土木(一次)施工管理技術検定試験受験対策講習会」3/3回目(建労センター)	・県産品奨励月間実行委員会(那覇市)
28	木	・沖縄県土木技士会「役員会」(建労センター)	・琉球大学「キャリアデザイン授業」(西原町) ・沖縄労働局「人材確保対策推進協議会・分科会(警備分野・建設分野)」(那覇市) ・沖縄県環境整備センター「定例取締役会」(那覇市)
29	金		・沖縄県中部保健所「不法投棄等防止県下一斉パトロール・意見交換会」(うるま市) ・全国土技士会「通常総会」(東京都) ・沖縄県「世界のウチナーンチュ大会実行委員会」(豊見城市)

2026年6月の行事予定

日	曜	沖建協・建産連・土木技士会・青年部会等	その他会議・講習会等
2	火		・(中止) 沖縄労働局「沖縄県建設業関係労働時間削減推進協議会」(那覇市) ・(中止) 沖縄県産業教育振興会「総会・事業説明会・懇親会」(那覇市)
3	水	・沖建協「1級土木施工管理(一次)検定試験実力確認テスト」(建労センター)	・沖縄県職業能力開発協会「若年技能者人材育成支援等に係る連携会議」(那覇市)
5	金	・沖建協、建産連「建設産業合同企業説明会」(沖縄コンベンションセンター)	・沖縄県暴力団離脱者社会復帰支援協議会「総会」(那覇市)

2026年6月の行事予定

日 曜	沖建協・建産連・土木技士会・青年部会等	その他会議・講習会等
8 月		・沖縄不発弾等対策協議会「協議会・分科会」(那覇市)
9 火	・沖建協「実践型人材育成訓練修了式」 (那覇地域職業訓練センター) ・沖建協「1級建築施工管理(一次)検定試験実力確認テスト」(建労センター)	・全建「表彰式・定時総会」(那覇市)
11 木		・沖縄県職業能力開発協会「前期技能検定委員辞令交付式及び調整会議」(那覇市)
12 金		・建災防沖縄県支部「総会・労働災害防止大会」(那覇市)
15 月		・沖縄県社会保険委員会「支部総会・社会保険制度説明会」(浦添市) ・沖縄県防衛協会「表彰式・定期総会・防衛講話」(那覇市) ・おきなわ建設フェスタ事務局「実行委員会・幹事会」 (那覇市)
17 水	・沖建協「正副会長会議」(ハーバービューホテル) ・建設会館「株主総会」(ハーバービューホテル) ・沖建協「役員会」(ハーバービューホテル)	
22 月	・沖建協「褒章受章祝賀会」(ナハテラス)	
24 水		・沖縄労働局「建設工事関係者連絡会議」(那覇市) ・沖縄県キャリアセンター「業界セミナー(講話)」 (那覇市) ・暴力団追放沖縄県民会議「定時評議員会」(那覇市)
26 金	・建産連「総会」(ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城)	
29 月	・沖縄県土木技士会「総会」 (ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城)	・建退共「運営委員会・評議員会」(東京都) ・建設業福祉共済団「定時評議員会」(東京都)
30 火		・全国建産連「通常総会」(東京都)

【6月号会員の異動】

代表者・所在地・組織 等

ページ	支部名	会社名	変更事項	変更前	変更後
P17	那覇	(株)共洋土建	代表者	野浦 薫	野浦 広行

退 会

ページ	支部名	会社名	代表者名
P38	北部	(有)友屋工業	河島 俊也

沖建協会報 2026年6月号(第673号)
令和8年6月1日発行
発行人 我喜屋 良成

発行所 一般社団法人 沖縄県建設業協会
〒901-2131 沖縄県浦添市牧港5-6-8
TEL.098(876)-5211
FAX.098(870)-4565
編集 株式会社沖縄建設新聞

沖縄県内の公共工事動向（令和8年4月分）

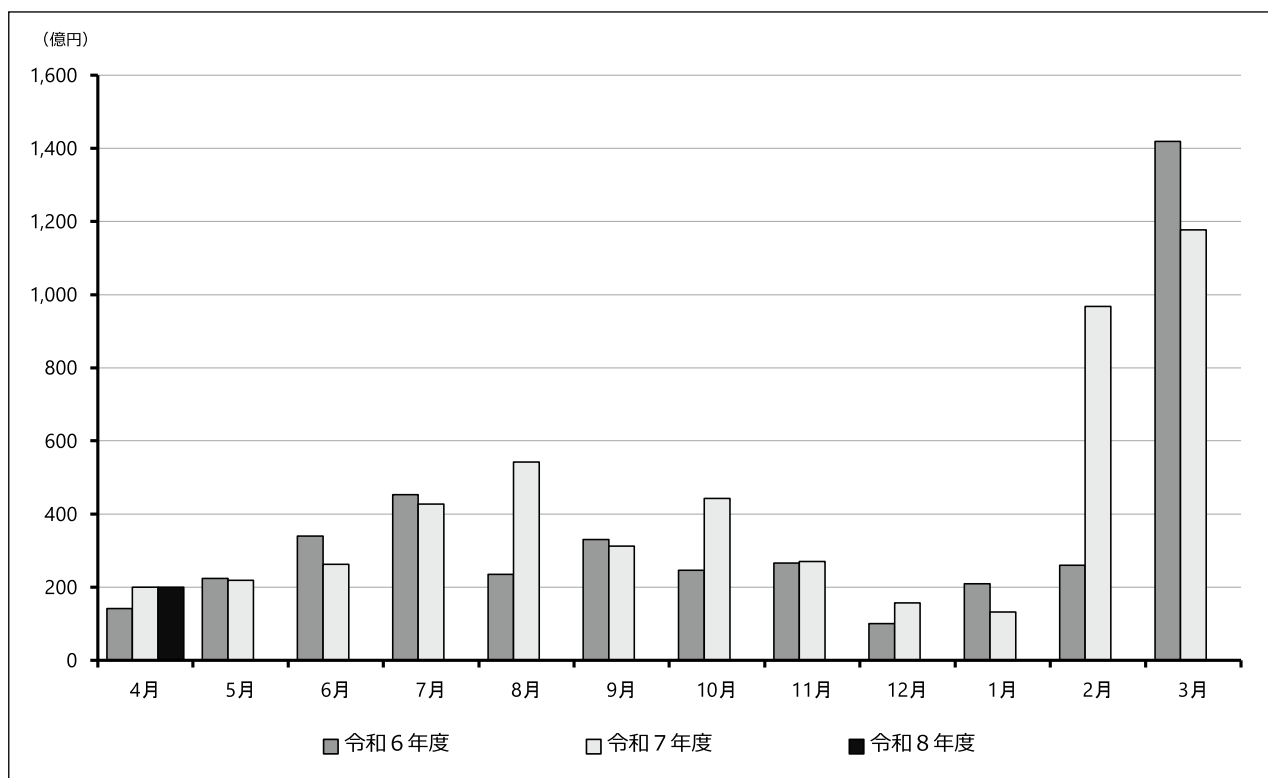
西日本建設業保証（株）沖縄支店

▼ 概況

（単位：件、百万円、％）

	当 月		増減率		累 計		増減率	
	件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額
国	27	2,243	8.0%	7.2%	—	—	—	—
独立行政法人等	0	0	—	—	—	—	—	—
県	55	8,040	▲11.3%	15.7%	—	—	—	—
市町村	80	8,715	15.9%	20.6%	—	—	—	—
その他	10	1,043	0.0%	▲66.4%	—	—	—	—
合 計	172	20,043	0.6%	▲0.2%	—	—	—	—
令和7年度	171	20,078	7.5%	41.1%	—	—	—	—
令和6年度	159	14,227	▲1.2%	▲19.5%	—	—	—	—
令和5年度	161	17,663	10.3%	6.4%	—	—	—	—
令和4年度	146	16,593	▲20.7%	▲41.5%	—	—	—	—

▼ 月別請負金額の推移





2025年10月
リニューアル!

NEW!

電子申請で業務を
もっとスムーズに!

建設現場労働者のための退職金制度

建退共

K E N T A I K Y O

電子化で、煩雑な申請や書類管理の
手間を大幅に軽減できます。

オンラインで
業務効率化!

工事関係書類の
電子化にも対応!

発注機関等への
提出作業が軽減!



詳しい情報はこちら ▶

建退共



<https://www.kentaikyotaisyokukin.go.jp/>



建退共
建設業退職金共済制度

独立行政法人 勤労者退職金共済機構 建設業退職金共済事業本部
〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1 TEL.03-6731-2866

安心を、未来への希望に。

新設 保険金区分

最高

7,000万円

に増額

(従来5,000万円)

契約者
割戻金制度により
掛金負担
が軽減

経営事項審査
において
15点の加点
になります

法定外労災補償制度 諸費用補償 (企業防衛)

建設共済保険

さらに新しくなった!
建設共済保険制度の

10の
ポイント!

「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

育英奨学事業

被災者(死亡および身体障害・傷病3級以上)の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

労働安全衛生推進事業

- ① 安全衛生用品の頒布
- ② 女性専用トイレ・更衣室導入費用に対する助成
- ③ 安全衛生推進者表彰 等

<https://www.kyousaidan.or.jp/>

建設共済保険

Q 検索

詳しくはホームページをご覧ください



公益財団法人 **建設業福祉共済団**

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー11階

■取扱機関：一般社団法人沖縄県建設業協会

〒901-2131 浦添市牧港5-6-8

Tel. 098-876-5211 Fax. 098-870-4565

島の魅力

第18回 フォトコンテスト

〈令和8年度〉

最優秀賞

賞金 5万円

作品応募期間 当日消印有効

令和8年 6.1月~8.14金

表彰式

令和8年11.16日
県庁1階ロビー(予定)

テーマ

「人」の部

建設業で働く人々
を題材にした作品

撮影場所▶沖縄県内

土木・建築・設備・その他の工事現場で
「いきいきした姿」「人間味あふれる姿」
「真剣な姿」働く人々をとらえた作品

キーワード

技能・技術・連携・安全・裏方・親睦・仲間・
家族・笑顔・地域、等

「造」の部

建設業が造りだす
構築物を題材にした作品

撮影場所▶沖縄県内

沖縄県内で施工途中、又は既に竣工した
構築物等「美しい様子」「存在感のある様子」
「象徴的な様子」で街や人々のよりどころ
となっている

キーワード

技術・工法・規模・雄大・デザイン・自然・
街並・都市・調和、等

各部門

前回の最優秀賞は、
県立工業高校の学生さんが受賞!

※入賞は各部門1人1点とします。

- 最優秀賞 1点 (賞状・賞金 5万円)
- 優秀賞 2点 (賞状・賞金 2万円)
- 学生賞 1点 (賞状・賞金 1万円)
- 入選 10点 (賞状・賞金 5千円)
- みんなの公共(建築・土木)賞
 - ・建築賞(「造」の部) 2点 (賞状・賞金 1万円)
 - ・土木賞 1点 (賞状・賞金 1万円)
- 沖縄建設新聞社長賞 1点 (賞状・賞金 1万円)
- 現場で働く美ら小町賞(「人」の部より) 1点 (賞状・賞金 1万円)

お問い合わせ先・応募先

沖縄県建設業協会青年部会 島の魅力 係
第18回 フォトコンテスト
〒901-2131 沖縄県浦添市牧港5-6-8
TEL: 098-876-5211
FAX: 098-870-4565
<http://www.okikenkyo.or.jp/>



青年部会 島の魅力

確かな安心へ
全力応援。



建設共済保険

※労働者に必要のリスクを同時にカバー
※年間1億円 補償限度額5,000万円
※契約者数無制限(100名以内)

今すぐ
ご加入!



佐々木 美玲

全国安全週間

本週間 7月1日 ▶ 7日

準備期間 6月1日～6月30日

コード No.760101
建設業労働災害防止協会

 建設業労働災害防止協会